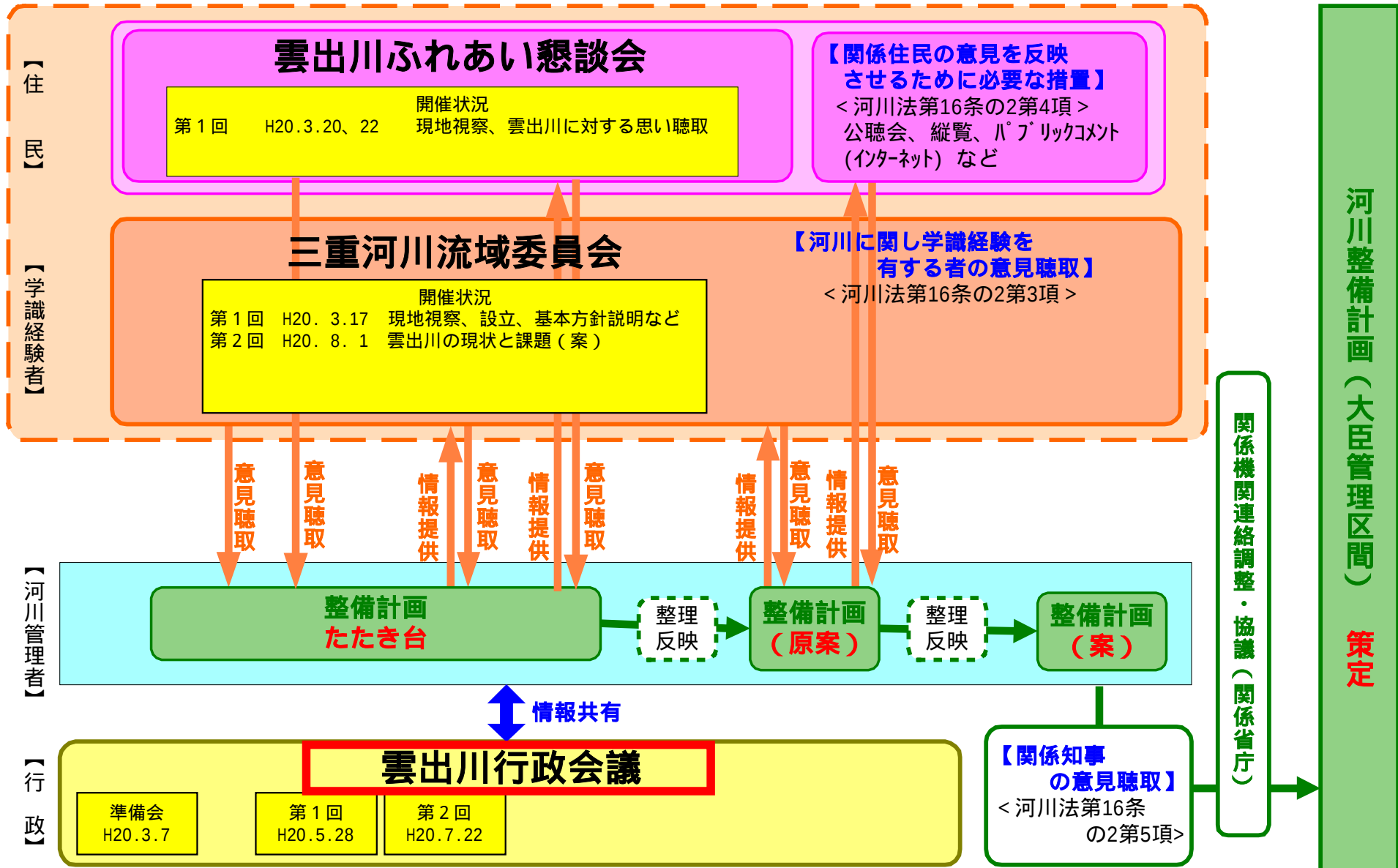


# 雲出川行政会議 開催報告

平成20年8月1日

# 雲出川行政会議の位置付け

河川管理者は、住民・学識経験者に必要な情報提供を行い、意見聴取を図る。  
また、河川整備計画策定プロセスにおいて、関係行政機関との情報共有を図る。



# 第1回 雲出川行政会議 開催報告

## ●開催日時・場所

日時：平成20年5月28日（水） 10:00～

場所：国土交通省三重河川国道事務所 2階会議室

## ●出席者

### 第1回 雲出川行政会議 出席者名簿

| 構 成 員 |            |     |       | 備 考            |
|-------|------------|-----|-------|----------------|
| 所 属   | 役職名        | 氏 名 |       |                |
| 三重県   | 県土整備部河川砂防室 | 室 長 | 久世 憲志 | 代理:副室長 西澤 浩    |
| 津 市   | 建設部        | 部 長 | 西中 正佳 |                |
|       | 久居総合支所     | 支所長 | 渡瀬 賢  |                |
|       | 一志総合支所     | 支所長 | 岡田一二三 |                |
|       | 香良洲総合支所    | 支所長 | 松原 克也 |                |
| 松阪市   | 建設部        | 部 長 | 稲垣 喜生 | 代理:土木課長 乾 智光   |
|       | 嬉野地域振興局    | 局 長 | 山路 茂  | 代理:地域整備課長 谷口保司 |
|       | 三雲地域振興局    | 局 長 | 道瀬 茂昭 |                |
| 国土交通省 | 中部地方整備局    | 所 長 | 横森 源治 |                |
|       | 三重河川国道事務所  | 副所長 | 水谷 直樹 |                |

# 第1回 雲出川行政会議 開催報告

## ● 議題

- ( 1 ) 雲出川行政会議の設立・運営について
  - 雲出川行政会議設立について
  - 雲出川行政会議運営について
- ( 2 ) 雲出川水系河川整備計画策定への取り組みについて
  - 三重河川流域委員会（第1回）の開催報告
  - 雲出川ふれあい懇談会の開催報告
  - 今後の予定について

## ● 開催状況



# 第1回 雲出川行政会議 開催報告

## ● 主な意見

### ( 1 ) 雲出川行政会議の設立・運営について

雲出川行政会議の設立・運営について、内容の確認・承諾されにより、第1回雲出川行政会議より規約を施行することになった。

### ( 2 ) 雲出川水系河川整備計画策定への取り組みについて

主に次のような意見をいただき、内容を確認した。また、次回は第2回三重河川流域委員会の開催前に実施することが確認された。

#### 第1回三重河川流域委員会の開催報告に対する意見

- ・「小戸木の開口部は早く解決することが必要」や「開口部による遊水機能のバランスがポイントとなる」の意見についてどのように捉えているのか。

開口部の整備の方向性を決め、流域全体の調整の中で安全度の向上が必要。(事務局)

- ・開口部は、遊水部の土地所有者にとって問題だが、上流から下流まで固めるだけが治水ではない。様々な機能をもった雲出川であることを踏まえ、今後の整備をお願いしたい。

#### 雲出川ふれあい懇談会の開催報告に対する意見

- ・「洪水時に逆流する赤川や農地が浸水するなどについて、対策を考えていただき、早期解決してほしい」の意見について、ポンプの設置等の具体的な意見が出されたか。

ポンプ設置等の具体的な意見ではなく「浸かるから締切ってほしい」という主旨。(事務局)

# 第1回 雲出川行政会議 開催報告

## ● 主な意見

今後の予定に対する意見

- ・ 準備会の時は、関係部局との情報交換を行う場として行政会議の下部組織である部会設置の案があったが、進め方の考え方を示してほしい。  
部会は規約第4条の5に記載しているが、部会設置を前提に会議を進めるのではなく、必要に応じて実務担当者による部会を設ける、という整理で考えている。（事務局）
- ・ 数回の行政会議では現実的に結論は出せないなので、部会を随時開催するなどの方法で進めてほしい。
- ・ 平成20年度に河川整備計画を作ると聞いているが、櫛田川を除く3河川の計画策定のスケジュールは雲出川と同じなのか。  
雲出川は平成20年度を目標とし、他の2河川についても早い計画策定を目指しているが、平成20年度以降と考えている。（事務局）
- ・ 河川整備計画対象期間（30年）における事業の進め方について、10年、20年、30年 という時間的な区切りと事業を実施する区間との関係は、どのように考えるのか。  
30年後の目標達成に向けて、現状での予算を基本に段階的に、かつ優先順位をつけながら事業を進めていくことになる。（事務局）

# 第2回 雲出川行政会議 開催報告

## ● 開催日時・場所

日時：平成20年7月22日（火） 14：30～

場所：国土交通省三重河川国道事務所 2階会議室

## ● 出席者

### 第2回 雲出川行政会議 出席者名簿

| 構 成 員 |            |     |       | 備 考         |
|-------|------------|-----|-------|-------------|
| 所 属   | 役職名        | 氏 名 |       |             |
| 三重県   | 県土整備部河川砂防室 | 室 長 | 久世 憲志 |             |
| 津 市   | 建設部        | 部 長 | 西中 正佳 | 代理：次長 東畑正和  |
|       | 久居総合支所     | 支所長 | 渡瀬 賢  |             |
|       | 一志総合支所     | 支所長 | 岡田一二三 |             |
|       | 香良洲総合支所    | 支所長 | 松原 克也 |             |
| 松阪市   | 建設部        | 部 長 | 稲垣 喜生 | 代理：土木課長 乾智光 |
|       | 嬉野地域振興局    | 局 長 | 山路 茂  |             |
|       | 三雲地域振興局    | 局 長 | 道瀬 茂昭 |             |
| 国土交通省 | 中部地方整備局    | 所 長 | 横森 源治 |             |
|       | 三重河川国道事務所  | 副所長 | 水谷 直樹 |             |

# 第2回 雲出川行政会議 開催報告

## ● 議題

- ( 1 ) 第 1 回雲出川行政会議 議事要旨の確認
- ( 2 ) 雲出川水系河川整備計画（大臣管理区間）策定の進め方について
- ( 3 ) 雲出川の現状と課題（案）について
- ( 4 ) 第 2 回三重河川流域委員会について
- ( 5 ) 今後の予定について

## ● 開催状況



## 第2回 雲出川行政会議 開催報告

### ● 主な意見

議題3の「雲出川の現状と課題（案）」について出された主な意見は以下のとおりである。

#### （1）「流域の概要」に対する主な意見

- ・ 浸水想定区域にかかる市町村人口に津市の全域が入っており、実際の浸水想定区域内の人口よりも大きくなっていると考えていいのか。高齢者の割合は、大きな違いはないと思うが、人口では違いが大きくなると思う。

浸水想定域内人口の集計には労力が必要なため、浸水想定区域にかかる市町村の全人口を集計している。人口は日々変化しているが、流域の傾向や高齢者の増加傾向は変わらないものと考えている。（事務局）

- ・ 産業の推移の集計も浸水想定区域を対象としているのであれば、旧三雲町が含まれていない。

旧三雲町が抜けているので精査する。（事務局）

- ・ 治水の歴史で示されている開口部とは何か。

洪水などによる水位上昇時に、堤内地側に水が侵入してくる霞堤の残る箇所を開口部と称している。（事務局）

- ・ 治水の歴史で示されている浸水想定区域と危機管理対策で示されている浸水想定区域では範囲が異なるが何故か。

危機管理対策で示しているものが浸水想定区域で、治水の歴史で浸水想定区域として表記している範囲は平成16年9月洪水での浸水区域である。浸水想定区域などは、資料全般について統一して修正を行う。（事務局）

## 第2回 雲出川行政会議 開催報告

### ● 主な意見

#### (2) 「治水」に対する主な意見

- ・ 耐震対策で示されている「長時間の二次災害」とは何か。  
液状化等で堤防が陥没し機能が消失した際に、高潮などで浸水すると排水が出来ず、浸水期間が長期に亘るという意味である。（事務局）
- ・ 開口部の被害状況で示されている「浸水区域」と「開口部からの氾濫原」にずれがあるのはなぜか。  
「開口部からの氾濫原」と「浸水区域」の範囲については、精査し表記方法の修正を行う。  
（事務局）
- ・ 「氾濫域における水害の可能性」で氾濫と説明されているが、一般に氾濫というと堤防をオーバーフローするという感覚があるので、氾濫の意味（定義）を示してはどうか。  
注釈等を記載すると共に表現等を工夫する。（事務局）
- ・ 河口部の計画高水位は、朔望平均満潮位に対しどの様に考えているのか。  
河口域の計画高水位は朔望平均満潮位をもとに設定し検討している。（事務局）

#### (3) 「環境」に対する主な意見

- ・ 樹林化の進行は河積断面を阻害すると考えられるが、河川整備計画を策定して行くに際してはどのように捉えるのか。  
維持管理の項で、流下能力への影響がある樹林化の進行箇所は、適切に管理を行うこととしている。（事務局）

## 第2回 雲出川行政会議 開催報告

### ● 主な意見

(4) 「維持管理」に対する主な意見

- ・ 観測機器については、維持更新のみ記載されているが、ＨＰなどで情報提供をしていることなども記載したほうが良いと思う。